

## 凡例

- 一、本資料集は、法学新報社発行の雑誌『法学新報』に掲載された中央大学関係記事を抜粋・編集したものである。前集同様、「雑報」、「中央大学記事」、「演説」、「漫録」、「中央大学広告」の各欄から学事・行事関係記事を収録した。
- 一、底本は、中央大学中央図書館および大学史編纂課所蔵の『法学新報』各巻号をもつてした。
- 一、記事の収録にあたっては、できるかぎり史料の原形をとどめるよう留意したが、つぎの点については改めた。
- 一、表題は、記事の内容に即して適宜付し、その左に「―」を付して巻・号数・発行年月日を記した。
- 一、漢字は原則として常用漢字を用い、それ以外は正字を使用した。人名は原文通りの表記を原則とした。
- 一、仮名は、通用字体とし、仮名づかい・送り仮名は原文通りとした。
- 一、合字・当て字は原文通りとした。
- 一、記事中に疑義が生じた場合は、該当箇所右脇に（ママ）を付し、明らかな誤りと思われるものについては右脇に（ ）を付して訂正した。
- 一、記事中に差別用語ないし不快用語、あるいはそれらに相当する表現が含まれている場合があるが、原文の歴史性を考慮してそのままとした。